

株主通信 第50期

第2四半期のご報告 2022年4月1日 - 2022年9月30日

CONTENTS

- 01 トップメッセージ
- 03 新社長インタビュー
- 05 Focus!
- 07 News@Nidec
- 09 2022年度 第2四半期(上半期) 連結決算ハイライト
- 11 2022年度 第2四半期(上半期) 製品グループ別業績
- 13 株主優待
- 14 株式・社債情報、会社概要

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告します)
単元株式数	100株
公告方法	当社のホームページに掲載します。 https://www.nidec.com/jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(URL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株式に関する住所変更、単元未満株式の買取等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更、単元未満株式の買取等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

株主総会招集ご通知の電子化について

今回の定時株主総会(2023年6月開催予定)における招集ご通知について電子メールでのお受け取りを希望される場合には、以下URLへアクセスのうえ「株主総会招集ご通知の電子化に関するご案内」にて詳細をご確認ください。
<https://www.nidec.com/jp/ir/event/meeting/>

議決権を有する株主様へのお知らせ

会社法改正により

株主総会資料が原則“ウェブ化”されます!
 (電子提供制度開始)

主な変更点

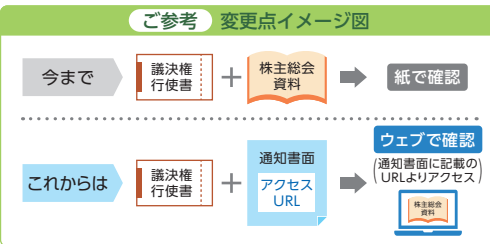
- ウェブサイトにアクセス方法を記載した招集通知(右図、通知書面)をお送りします。
- 株主総会資料の全文はウェブサイトにアクセスすることで確認いただけます。

※議決権行使書は、従来通りお送りします。
 ※株主総会資料とは、株主総会参考書類、事業報告、計算書類、連結計算書類、監査報告書を指します。
 なお、配当金や株主優待等は本制度の対象外です。

開始時期

2023年3月以降の株主総会より
 (インターネットのご利用が困難な株主様へ)
 2022年9月1日以降、書面でご受領するための手続き(書面交付請求)が可能です。

〈注意事項〉 本株主通信には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発/生産能力、関係会社の業績およびその他のリスクや不確定要素を含みます。本株主通信に含まれる全ての将来的予測に基づく記載は、株主通信作成時点で入手可能な情報に基づいており、私達は、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。また、この記載は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。



本制度及び左記手続に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行 証券代行部

☎ 0120-533-600 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

■ぜひQ&Aもご利用ください。
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>



表紙は私達の暮らしの中で当社製品が使われていることを表現しています。掲載している製品は、減速機です。

Nidec ロゴは、日本電産㈱の日本国、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 All for dreams ロゴは、日本電産㈱の日本国、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

製品紹介

減速機

モータが使われるほとんどの機器には、減速機が使われています。減速機はモータの回転速度を落とす代わりに、大きな力を出す役割を果たします。ロボットにもモータと減速機は使われており、減速機のおかげでロボットは重い物を運ぶことができます。



2030年度売上高

10兆円を目指して

2022年度上半期の業績は、売上高1兆1,308億円、営業利益964億円となり、過去最高を更新しました。足元では原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱が引き続きありましたが、機器装置事業の好調や為替の影響により前年同期比増収増益です。「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」という創業以来大切にしてきた精神で引き続き環境変化に力強く適応していきます。

当社が参入している市場は今後大きな成長が期待できるものばかりです。例えば、ガソリン車から電気自動車への移行に伴い、当社の電気自動車用トラクションモータシステム (E-Axle) の引き合いは益々増えています。今後更に高まっていく需要を見越して生産能力を拡大し、

来る需要を全て受け止めていく計画です。また昨年度、日本電産マシンツールとニデックオーケーケーが加わったことで、本格的に工作機械事業へ参入しました。大きな収益を生み出す成長の柱として、この事業を育てていく予定です。これらの両事業は当社が2030年度売上高10兆円を目指す際に大きな役割を果たします。

9月からは創業メンバーである小部博志氏が社長に就任しました。新経営体制の下、全従業員のベクトルを合わせて一丸となって邁進していきます。

代表取締役会長
(最高経営責任者)

永守重信

～100年を超えて成長し続けるグローバル企業へ～



代表取締役社長執行役員
(最高執行責任者)

小部 博志

Q まずはご挨拶を。

9月3日、代表取締役社長に就任しました小部です。私はもっとも社歴の長いプロパー社員ですが、改めて身の引き締まる思いです。ニデックグループの変革を進め、社長の任務を全うします。

Q 来年4月に社名を「ニデック株式会社」に変更されますね。

はい、2023年7月23日に創業50周年を迎えるにあたり社名を変更します。真のグローバル企業として従来の英語名「Nidec (ニデック)」に統一し、世界基準で活躍する企業へと飛躍します。

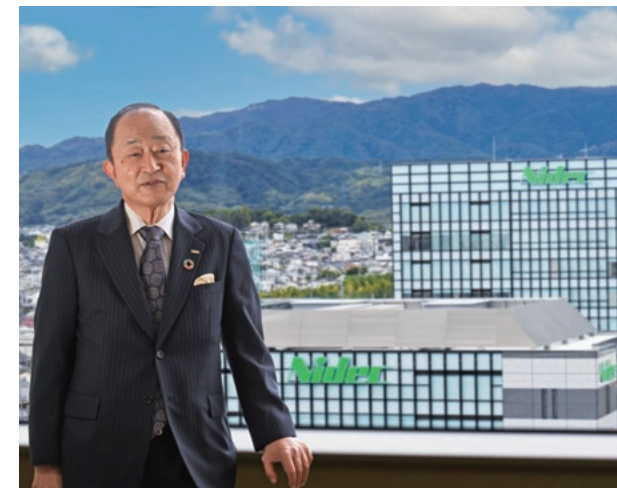
Q 事業環境についてお聞かせください。

ひと昔前は「中国の人口は日本の約10倍で、市場規模も約10倍」と言われていましたが、現在の中国は日本の約20倍の市場規模になっているのが実感です。加えて私たちを取り巻く生活環境の変化も見逃せません。スマホ等のデジタル機器や5G通信の隆盛に留まらず、仮想現実(メタバース)の展開を通じ新たなビジネスチャンスが生まれつつあります。また、脱炭素化等を促進するESG

経営やサステナビリティ(持続可能性)経営といった視点も全体の舵取りを行ううえで重要です。変化への対応が今後の鍵を握っています。

Q 社長として、まず着手されたことは。

京都本社にいる約300名の社員を幾つかのグループに分けて面談を行いました。この2年間、コロナ禍の影響で働き方や社員同士のコミュニケーションのあり方が変わってきました。マスク姿でのオンライン会議など、本来の姿である「Face to Face」がともすれば忘れられがちです。社員一人ひとりと向き合い、いま改めて働くことの意義や目的を相互に確認したことで新たな活力が生まれる手応えを感じました。



Q 最後に抱負をお聞かせください。

本年6月の定時株主総会は3年ぶりに京都市内のホテルで開催しました。電気自動車用モータを含む車載を始めとした事業の将来性に多くの株主様が期待を寄せてくださる点を改めて実感しました。2020年に始まった世界的パンデミック以降、世界の政治と経済は激変しました。この変化の荒波に対峙し、今後100年を超えて成長し続ける企業になるには会社も個人も変革が必要です。「プロアクティブ(前向き)、プロフェッショナル(専門的)、プロダクティブ(生産的)」な働き方をモットーに、日々邁進して参ります。



ニデックオーケーケー株式会社
代表取締役社長執行役員
森本 佳秀

ニデックオーケーケー



兵庫県伊丹市に位置する日本電産のグループ会社。1915年に大阪市で創業した100年以上の歴史を持つ機械メーカーで、幅広い産業分野を支える高性能な工作機械をつくり出してきました。国内13拠点、海外4拠点において事業展開。2022年2月にグループ入りし7月にOKK株式会社からニデックオーケーケー株式会社へと社名変更。

Q1 グループ入りからこれまでを振り返っていかがですか。

グループ入り前は経営難ゆえの赤字が続き、事業の規模縮小を余儀なくされてきました。そんな折、「工作機械^{*1}で世界一を目指すから、一緒にやろう」とニデックグループから声をかけられ一筋の光が差し込みました。グループ入り後はニデック経営手法を永守会長から直接指導いただき社員の行動に変化が生じています。目標に対してまずは「出来る」から入り、情熱・熱意・執念をもって達成の為に力を尽くす集団へと変化しつつあります。

^{*}1 工作機械：世の中の機械・装置、あらゆる部品を作る機械。モノづくりの根本を支えており、あらゆるモノを生み出す機械という意味で「母なる機械（マザーマシン）」とも呼ばれる。

^{*}2 日本電産マシンツール：2021年8月にニデックグループ入り。旧三菱重工工作機械株式会社。

Q2 現時点での成果は。

たとえば営業担当者は月100件の顧客を訪問するようになり、活発な新規開拓に繋がっています。受注が増加し2022年4-6月期は四半期ベースながら黒字転換を果たしました。営業部門が機関車となって会社を牽引し、開発・製造部門などがしっかり後押しをしながら全社一丸となって成長を志向しています。

Q3 主力の製品は。

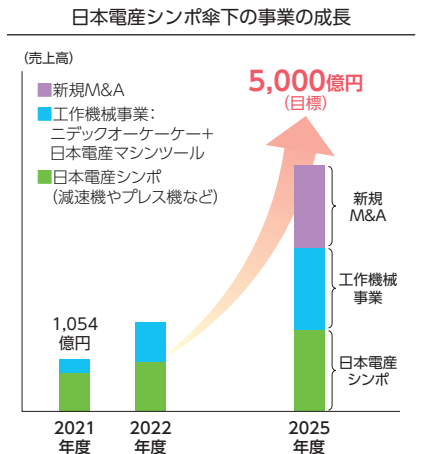
工作機械の中でも鉄やアルミなどの部材を加工するマシニングセンタと呼ばれる分野を主力としています。当社の技術優

位性は「重切削・高剛性」にあり、これは平たく言うと「良く削れて、頑丈な製品」ということです。納入先は、自動車業界をはじめ航空機業界、それに家電やPC・携帯電話といった業界など、幅広い製品分野で使われる部品の加工現場において、当社のマシニングセンタは活躍しています。

Q4 経営目標は。

ニデックグループは車載や家電・商業・産業用など複数の中長期成長の柱を据えており、それらの1つにロボット分野に資する減速機やプレス機などを扱う日本電産シンボが存在します。工作機械事業

を担う当社や日本電産マシンツール^{*2}も実は日本電産シンボの傘下に属し、下図が示すとおり2025年度の売上高目標を5,000億円としています。今後、ニデックグループを支える柱の1つになることが期待されています。



ニデックオーケーケーのマシニングセンタ

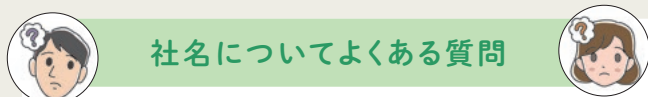
Q5 なるほど、今後の展開が楽しみです。

はい。創業100年を経て築き上げた品質と信頼をベースにニデックグループの世界的ネットワークを加え、今後は、同傘下で工作機械を扱う日本電産マシンツールと連携して工作機械業界の世界ナンバーワンを共に目指します。

News@Nidec

News 1 | 2023年4月1日、社名が「日本電産」から「ニデック」へと変わります！

本年6月の定時株主総会にて、当社社名を2023年4月1日より「日本電産株式会社」から「ニデック株式会社」へと変更することが決定しました。国内外のグループ会社についても、グループブランド名である「ニデック」を冠したものに變更しグループ一体化経営を更に進化させて参ります。



社名についてよくある質問

Q. 「Nidec(ニデック)」というブランド名の由来は？

A. 「日本電産」の日本の「Ni」と電産の「de」、コーポレーションの「c」をとっています。創業当初の1973年から、海外展開を視野に「Nidec」というブランド名で事業展開しており、海外では既に「Nidec」で認知されています。

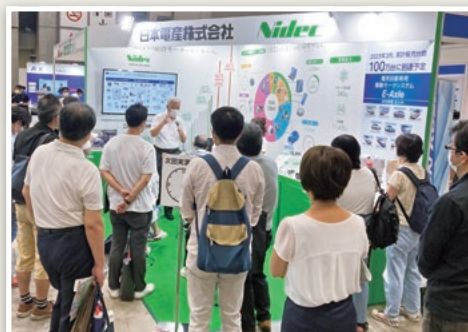
Q. 社名ロゴも変わるの？

A. 変わります。当社は来年創業50周年を迎え、新ロゴでは当社の50年の信頼や技術力、未来への飛躍を表現しています。

ニデック株式会社

新社名ロゴタイプ

News 2 | 日経IR・個人投資家フェア2022に出展しました！



ミニ会社説明会の様子(リアル展示会)

8月26日、27日に「日経IR・個人投資家フェア2022」に出展しました。本イベントは上場企業のIR担当者と個人投資家の皆様が直接対話できる出会いの場であり、2日間で1万7千名超の投資家(リアル、オンライン展示会の合算)が来場されました。当社ブースでは、ミニ会社説明会や当社製品の魅力について個人投資家の皆様にお伝えし、多くの来場者に関心を持っていただきました。今後も当社は個人投資家の皆様へ積極的な情報発信をして参ります。

News 3 | 新拠点の名称が「ニデックパーク」に決定！

当社は京都市南区にある本社ビルの近接地に新拠点を建設中で、名称を「ニデックパーク」に決定しました。本年の7月にはC棟の建設工事が完了し、当社の小型モータ事業本部とグループ会社の本社・研究開発機能が入居しました。2030年を目標にA棟、B棟、第二本社の建設計画も進んでいます。新拠点を通じて、本社機能集約による業務効率化とグループ会社間の連携強化を加速させ、売上高10兆円達成に向けた業務の効率化や更なる成長を目指して参ります。



現本社から撮影したニデックパーク

C棟内部の様子



ミーティングスペース

空中庭園

個室型ワークスペース

2022年度 第2四半期（上半期）連結決算ハイライト

2022年度
第2四半期
(上半期)

売上高

1兆1,308億円

前年同期比24%増

営業利益

964億円

前年同期比8%増

当期利益

866億円

前年同期比30%増

配当金

35円

前年同期比5円増配

POINT

■売上高

上半期過去最高を更新。「精密小型モータ」、「車載」、「家電・商業・産業用」、「機器装置」、「電子・光学部品」、「その他」の全製品グループで増収。

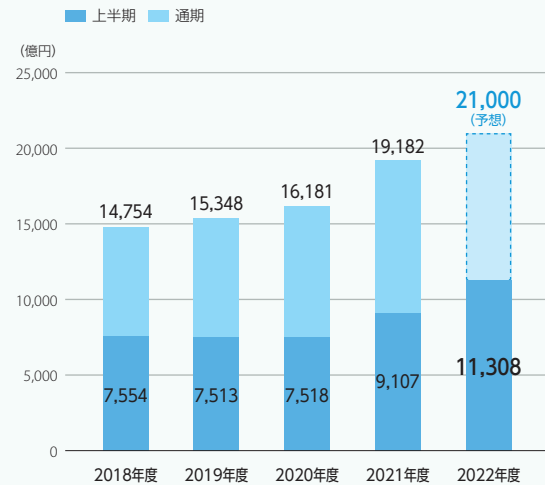
■営業利益、当期利益

上半期過去最高を更新。世界的な原価高騰に対する売価反映、継続的な原価改善及び固定費の適正化、為替の影響などが増益の要因。

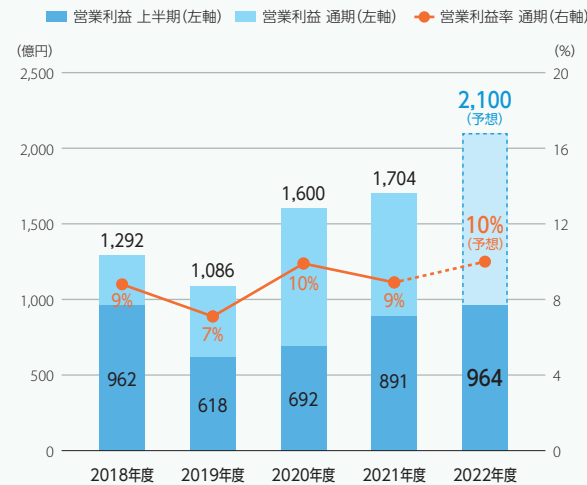
■配当金

上半期末配当金は前年同期比5円増配の35円。期末配当金も35円とし、2022年度の年間配当金は70円を予定。

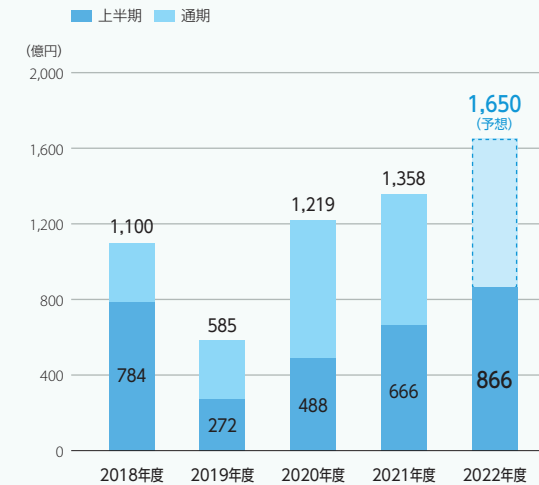
売上高の推移



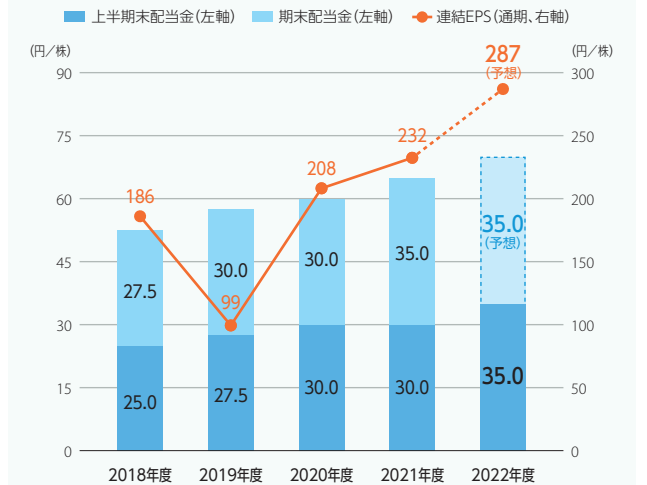
営業利益と営業利益率の推移



当期利益の推移

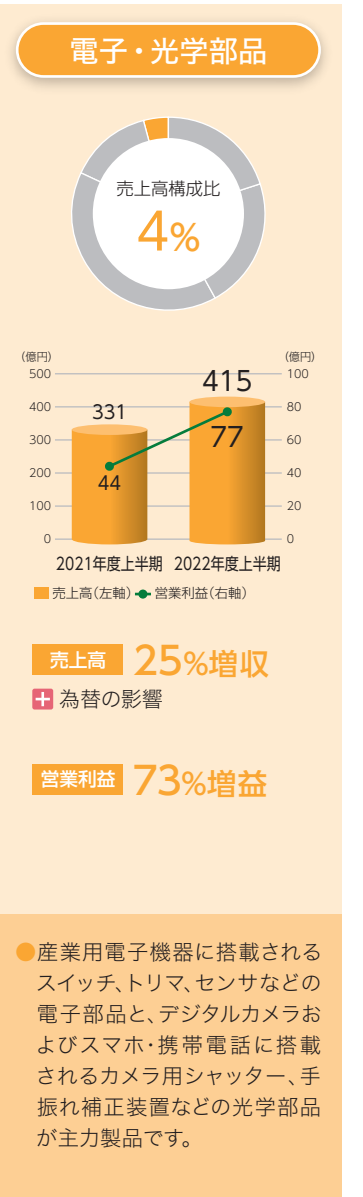
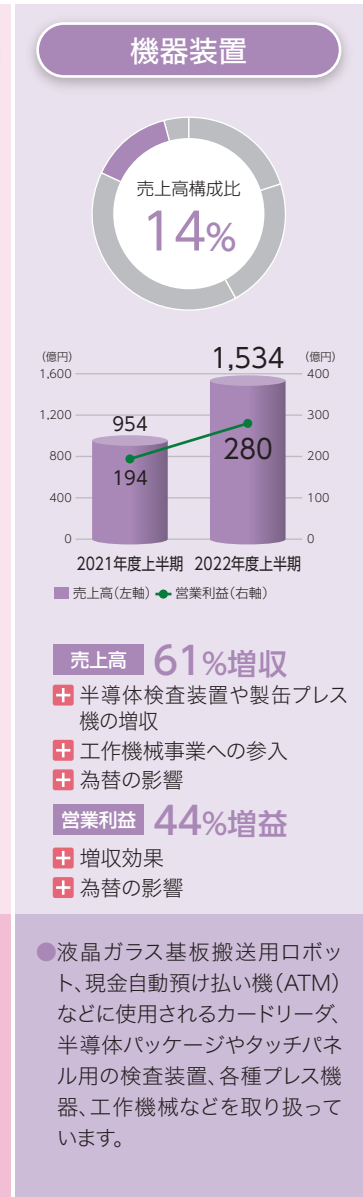
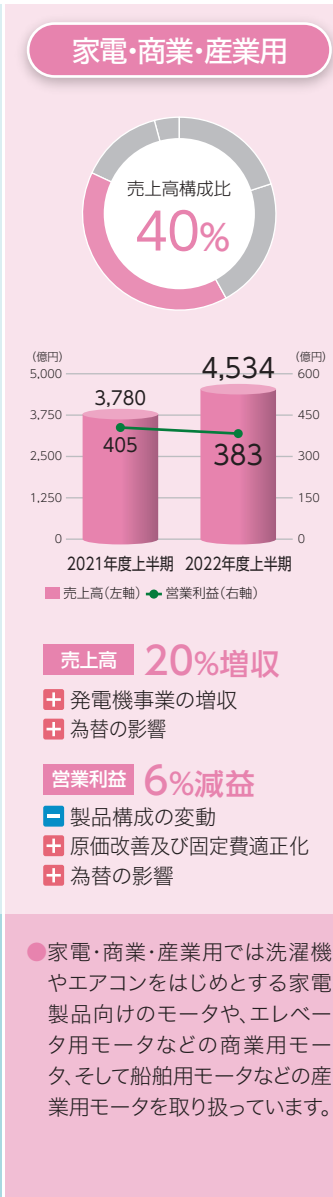
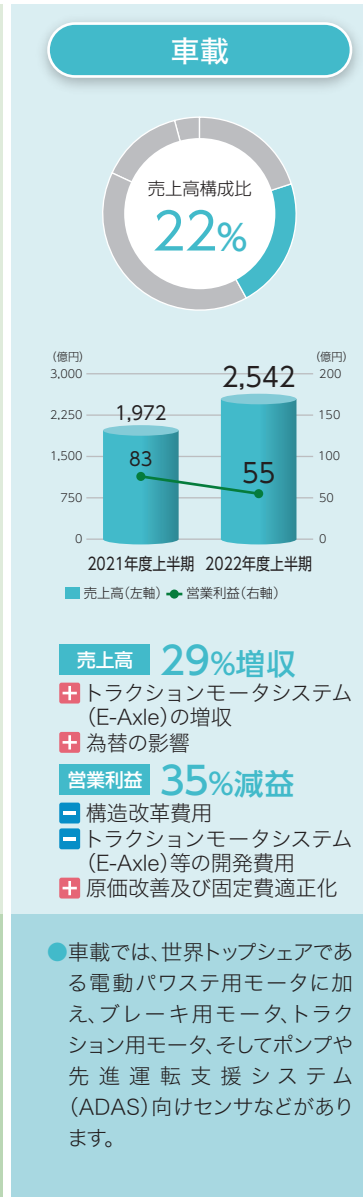
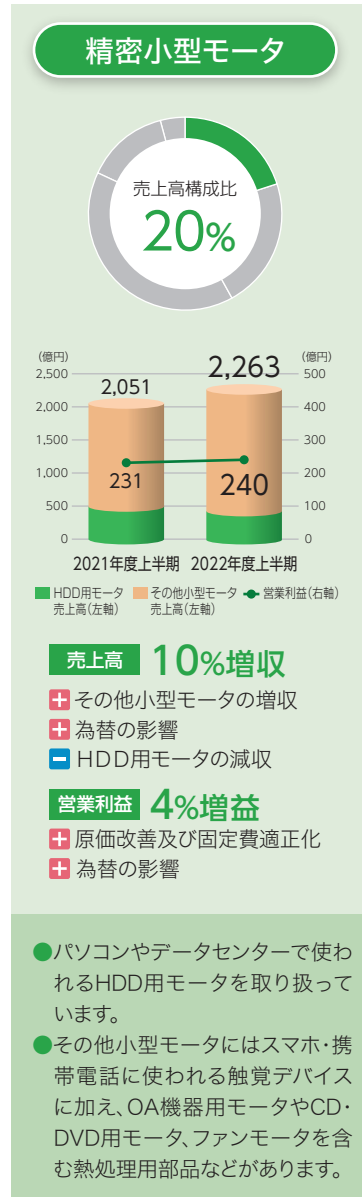
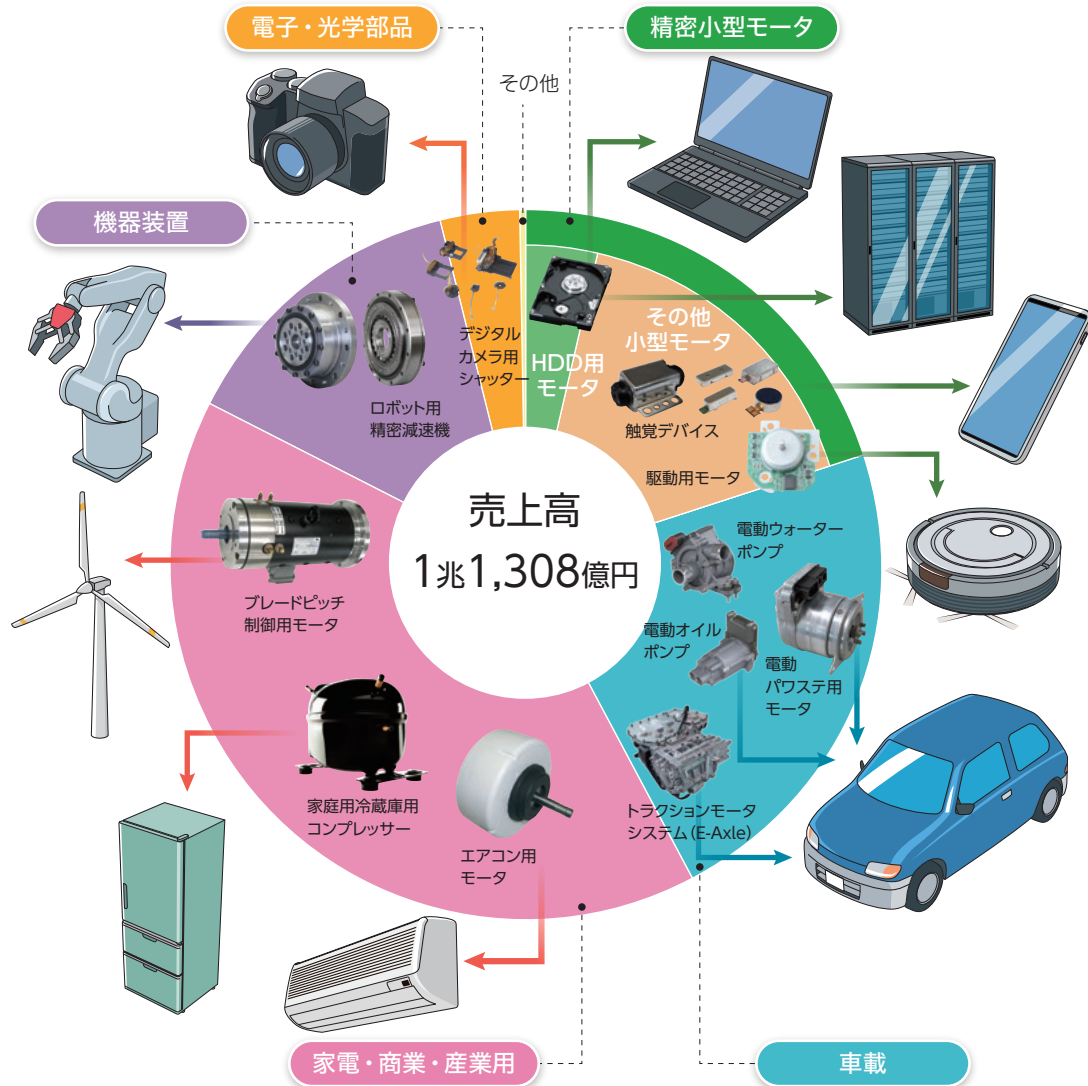


1株当たり当期利益(EPS)と1株当たり配当金の推移



※2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、2018年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して「1株当たり当期利益」及び「1株当たり配当金」を算定しております。

2022年度 第2四半期(上半期) 製品グループ別業績



株主優待に関するお知らせ

株主の皆さまにおかれましては、弊社及びグループ会社を日頃より応援いただき、誠にありがとうございます。
2022年3月株主優待に関しまして、下記の通りお知らせいたします。

1 豪華“オルゴール”抽選贈呈（応募終了）結果について

抽選結果は当選された方への当選通知をもって代えさせていただきます。

対象 長期保有株主様
(株式保有期間3年以上且つ単元株以上)

応募総数 3,310名

株式保有期間	優待内容	当選人数
10年以上※	①オルフェウス (7.5万~9万円相当) 「イタリアモダンカラー・エレガントな造形が特徴的なボックス型30弁イタリア象嵌オルフェウス」	抽選で10名様
3年以上	②5千円相当のオルゴール 「Nidecオリジナル」 スケルトン式23弁オルゴール:オリジナルメッセージプレート付	抽選で100名様

※10年以上保有の株主様は、上記①が②のいずれか選択が可能で、オルフェウス当選者は希望のデザイン・曲目に個別制作いたしました。

大変多くの株主様にご応募いただき、厳正なる抽選の結果、当選された110名様へはご通知すると共に、既に商品をお届けしております。
なお、本企画は来年も予定しており、その際には奮ってのご応募をお待ちしております。

① 株式保有期間10年以上※



② 株式保有期間3年以上



2 「日本電産サンキョーオルゴール記念館 すわのね」について

弊社グループ会社である、日本電産サンキョーは長野県諏訪に位置しています。当会社が世界に誇るオルゴール技術を「オルゴールの歴史」また「音色」で、多くの株主さまに楽しんでいただければという思いから、2017年以降、「オルゴール記念館すわのね」の無料入館リーフレットを株主優待としております。

2022年度発行の本優待は、2023年3月31日までご利用いただけますので、長野へお越しの際には是非ともご来



館ください。アンティークオルゴールや現代オルゴールの生音を体感いただき、心癒されるひと時をご堪能ください。

株式・社債情報 2022年9月30日現在

株式の状況

発行済株式総数 596,284,468株 第2四半期末株主数 137,288名

大株主の状況

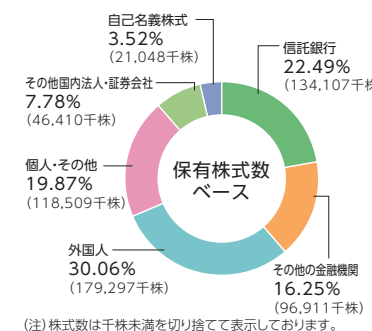
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	83,555	14.52%
永守 重信	49,473	8.60%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	31,192	5.42%
株式会社京都銀行(常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	24,798	4.31%
エスエヌ興産合同会社	20,245	3.51%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	14,883	2.58%
株式会社三菱UFJ銀行	14,851	2.58%
日本生命保険相互会社(常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	13,159	2.28%
明治安田生命保険相互会社(常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	12,804	2.22%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	10,217	1.77%

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式 21,048,328 株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお自己株式には役員報酬 BIP 信託及び株式付与 ESOIP 信託の所有する当社株式を含めておりません。

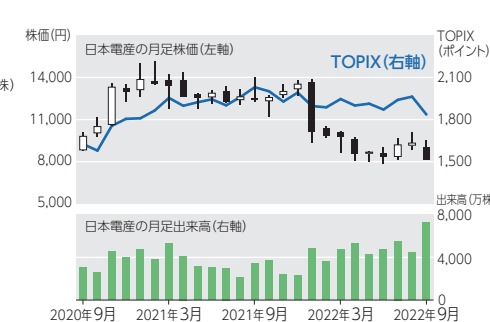
社債の状況

銘柄	発行日	額面総額	利率	未償還残高	償還期限
第8回無担保社債	2019年 7月19日	1,000億円	年0.100%	1,000億円	2024年 7月19日
第9回無担保社債(グリーンボンド)	2019年11月28日	500億円	年0.020%	500億円	2022年11月28日
第10回無担保社債(グリーンボンド)	2019年11月28日	300億円	年0.090%	300億円	2024年11月28日
第11回無担保社債(グリーンボンド)	2019年11月28日	200億円	年0.150%	200億円	2026年11月27日
第12回無担保社債	2020年 6月10日	500億円	年0.030%	500億円	2023年 6月 9日
ユーロ建無担保普通社債(グリーンボンド)	2021年 3月30日	5億ユーロ	年0.046%	5億ユーロ	2026年 3月30日
第13回無担保社債	2022年 7月12日	300億円	年0.250%	300億円	2025年 7月11日
第14回無担保社債	2022年 7月12日	200億円	年0.549%	200億円	2032年 7月12日

株式保有者別分布状況



株価・出来高の推移



会社概要 2022年9月30日現在

商号 日本電産株式会社
本社 京都市南区久世殿城町338
設立 1973年7月23日
上場証券取引所 東京
証券コード 6594
資本金 877億84百万円
従業員数 連結 110,375名
URL https://www.nidec.com/jp/

役員 2022年11月1日現在

代表取締役会長	永守 重信
代表取締役社長執行役員	小部 博志
取締役(監査等委員)	村上 裕也
取締役(監査等委員)	落合 裕之
社外取締役	佐藤 慎一
社外取締役	小松 弥生
社外取締役	酒井 貴子
社外取締役(監査等委員)	山田 文
社外取締役(監査等委員)	赤松 玉女
社外取締役(監査等委員)	渡邊 純子
専務執行役員	北尾 宜久
専務執行役員	菱田 正博
専務執行役員	小関 敏彦
専務執行役員	岸田 光哉
常務執行役員	マイケル ブリッグス
常務執行役員	バルター タランザーノ
常務執行役員	早船 一弥
常務執行役員	大西 寛
常務執行役員	金子 晃
常務執行役員	高橋 亨
常務執行役員	大村 隆司
常務執行役員	堀江 健志
常務執行役員	牛尾 文昭
常務執行役員	佐村 彰宣
常務執行役員	五十嵐 一嗣
執行役員	荒木 隆光
執行役員	佐藤 高廣
執行役員	平田 智子
執行役員	村越 慶太郎
執行役員	横田 秀俊
執行役員	具志堅 喜光
執行役員	岡島 万樹
執行役員	宮本 栄治
執行役員	永井 淳一
執行役員	片岡 央
執行役員	辻 真悟
執行役員	瀬田 啓則
執行役員	藤田 啓之
執行役員	岸前 貴志
執行役員	岸本 真